

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 岐阜県伝統文化継承者表彰

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化伝承課 伝統文化係 電話番号：058-272-8754(内3145)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 632 千円 (前年度予算額： 632 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	632	0	0	0	0	0	0	0	632
要求額	632	0	0	0	0	0	0	0	632
決定額	632	0	0	0	0	0	0	0	632

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

永年にわたり伝統文化の保存・継承に尽力された功労者をするとともに、無形民俗文化財・無形文化財の分野において優れた業績を上げ、又は将来その成果が期待できる個人・団体を表彰し、本県の伝統文化の保存伝承と普及振興を図る。

(2) 事業内容

文化創造課で実施していた岐阜県伝統文化継承者顕彰と文化伝承課で実施していた岐阜県伝統文化継承功績者顕彰を令和元年度に統合した。

○候補者の選考

永年にわたり、地道に伝統文化の保存・継承に尽力されている方を表彰し、伝統文化の保存・振興、後継者の育成に資する。

(3) 県負担・補助率の考え方
県単費

(4) 類似事業の有無
岐阜県芸術文化顕彰・奨励（文化創造課）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	60	選考委員謝金
旅費	26	選考委員費用弁償
需用費	311	消耗費、会議費、印刷製本費（受賞者パネル作成を含む）
役務費	25	返信用切手、送料
委託料	210	看板作成委託業務、表彰式開催委託料、パネル展示委託
その他		
合計	632	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○岐阜県文化振興指針(平成19年6月策定)における位置づけ
伝統文化の保存・継承に尽力された個人や団体を顕彰し、その功績への評価を通して活動の活性化と伝統文化の継承を図ります。

(2) 国・他県の状況

国では、文化芸術振興基本法(平成13年法律第148号)において、伝統芸能の継承及び発展、地域における文化芸術の振興、文化芸術活動で顕著な成果をおさめた者等に対する顕彰の必要性を規定している。

他都道府県では、本県の芸術文化顕彰・奨励に相当する表彰があるが、無形民俗文化財・無形文化財に特化した表彰制度は民俗芸能表彰（山形県）等少ない。生活・伝統文化に関する知事表彰は他に類例がない。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

継続的に伝統文化等の功績者を表彰することにより本県文化の継承、活動及び伝統文化の振興を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R-)	達成率
① 表彰者数	30	28	30	30	30	112%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 永年功労者27名、功績者8件を表彰。本表彰により、本県文化を守り伝え、後継者の育成につなげていくことができる。
	指標① 目標：30件 実績：35件 達成率：117 %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 永年功労者31名、功績者4件を表彰。本表彰により、本県文化を守り伝え、後継者の育成につなげていくことができた。
	指標① 目標：30件 実績：35件 達成率：117 %
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 永年功労者23名、功績者5件を表彰。本表彰により、本県文化を守り伝え、後継者の育成につなげていくことができる。
	指標① 目標：30件 実績：28件 達成率：93 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	伝統文化の継承及び発展、地域における文化芸術の振興につながる。また岐阜県ゆかりの先人の業績を、表彰を通じて広く紹介することで先人の業績へ理解を促進し、県民の誇りとしての意識の醸成を図ることができるため、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	伝統文化継承者表彰は令和5年度26件の推薦があった。要項で規定した多くの分野から表彰しており、伝統文化を広く紹介できており事業効果が現れている。取扱要領の改正によりより分野の幅を広げることができた。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	選考委員会において改善点を協議し、表彰事業の適切な推進に向けて事業内容の精査を進めている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 推薦者（市町村、文化団体等）において幅広い分野にわたる表彰候補者の把握が必要である。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本県の伝統文化の継承、伝統文化の活動の支援の一環として引き続き事業を継続していく。取扱要領を引続き再検討し、時代に即した表彰とする。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	